

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

「 基礎基本の身についた生徒 」

目指す生徒像

- ・学ぶ姿勢の身に付いた生徒
- ・明るいあいさつのできる生徒
- ・人も自分も大切に作る生徒
- ・心身ともにたくましい生徒

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 確かな学力の向上に努める

- 各教科における基礎・基本を明確にし、その定着を図る。
- 授業を公開し、共に学び合いながら、魅力ある授業を創造する。

イ 豊かな心と健やかな体をはぐくむ

- 全ての教育活動において人権教育を基本に特別支援教育に関わる体制を整備し、個に応じた指導を推進する。
- 自らの体力の増進に進んで取り組み、健康・安全についての態度を養う。

ウ 将来を見つめ、たくましく生きる力をつける

- 3年間を見通した進路指導とキャリア教育の充実に努め、自己実現をめざす生徒の育成を図る。
- 郷土理解学習の充実を図り、ふるさと式根島に誇りをもち、たくましく生きる生徒の育成を図る。

エ 家庭・地域社会と連携し、地域から信頼される学校

- 小中、中高の連携活動を充実させ、新島村一貫教育の推進を図る。
- 学校評価を積極的に公開し、保護者や地域からの意見を求め、学校運営連絡協議会制度を生かし、よりよい教育活動の推進に努める。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

ア 各教科

- 生徒の学力向上を図るための調査、全国学力調査・学習状況テスト、復習テスト、学力テストなどの結果や生徒からの授業アンケートなどを踏まえて、授業改善推進プランや少人数の特性を生かした個別学習指導計画を作成し、個に応じたきめ細やかな指導を図る。
- 指導と評価の一体化を図るための指導計画と評価計画を作成して、目標に準拠したきめ細やかな評価を実施し、個に応じた学習指導を推進する。
- 各教科の指導計画と評価計画の作成においては、言語活動の充実を図り、見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動を重視して、基礎学力の向上を図る。
- 英語検定、数学検定、漢字検定などに積極的に取り組み、基礎学力の定着とともに学習意欲を高める指導を図る。
- 選択教科では、生徒の特性に応じた多様な学習活動ができるように開設教科及びコースを設定し、補足的な学習や発展的な学習、課題解決的な学習指導を図る。

- 地域の教育力や地域教材を積極的に活用することによって、郷土を愛する心の育成や学ぶ楽しさを味わわせる。
- コンピュータや通信機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用する資質や能力、情報モラルを守る態度を育成し、情報教育の充実を図る。

イ 道 徳

- 人権尊重の精神を基調に教育活動全体を通じて、道徳的心情、判断力、実践力、規範意識の向上を図る。
- 地域の行事や学校行事、特別活動などに関連性をもった年間指導計画を作成し、伝統と文化の尊重、我が国と郷土を愛する心の育成を目指した道徳教育の充実を図る。
- 道徳授業地区公開講座に向けて、環境の保全に関する意識や道徳教育の重要性を家庭・地域に発信し、協働して豊かな人間性をはぐくむ。

ウ 特別活動

- 生徒会連携や部活動連携、ボランティア活動などの連携事業の充実を図り、自主的な生徒活動を通して、連帯・協力・奉仕の態度をはぐくむ。
- 生徒一人一人の活躍の場を広げコミュニケーション能力を高め、集団での役割や責任を果たす態度と自覚を深めさせる。

エ 総合的な学習の時間

- モヤイの精神を基盤に、自然体験や社会体験を通して問題解決や探究活動に主体的に取り組む姿勢を育み、郷土理解学習の充実を図り、力強く生き抜く生徒を教育活動を通じて育成すると同時に生涯学習の基礎を培う。
- 学年の発達段階に応じて系統性をもった単元を設定し、生徒自らが課題を見つけ、それを解決していくなかで生きる力を培う。
- 全学年で郷土理解学習に取り組み、郷土に対する理解を深め、郷土を創造する力をはぐくむ。

(2) 特色ある教育活動

ア 確かな学力の育成

- 生徒の継続的な学習を重視する視点から、「単元テスト」を実施する。
- 「単元別教科通信簿」を発行、活用して生徒の学習状況を的確につかみ、必要に応じて補充学習や学習相談を実施するとともに、「個別指導計画」に基づいた学習支援を行い、確かな学力の向上を図る。
- 放課後の活動として、「基礎学習の時間」を設定し、基礎的・基本的な学力や学習習慣の定着を図る。

イ 創意工夫を生かした活動

- 式根島保育園、式根島小学校、都立新島高等学校との学習活動の連続性、異学年交流などを強化するため新島村一貫教育の充実に努め、T・T、合同行事、人事交流などの連携を積極的に推進し生徒の資質や能力の向上を図る。
- 地域・社会の一員として、地域の高齢者の方々との交流活動や、地域の墓地への「砂運び」

や「浜清掃」「登校清掃」などの体験活動を通して、豊かな心をはぐくむ。

○毎日10分間「朝読書」を実施し、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするための読書活動を推進する。

○毎月「環境整備の時間」を設定し、自分たちの学校を大切にすることを養う。

ウ 基礎基本を向上させるための活動

○長期休業中、放課後の時間を活用して、計画的に学習会を設け、基礎基本の定着を図るための指導を行う。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

○組織的・計画的な生活指導を推進し、家庭・地域とも連携を強め、基本的な生活習慣の定着や規範意識の向上、自立心の伸長を図る。

○ガイダンス機能を生かし生徒理解を深め、一人一人の個性の把握と伸長を図る。

○いじめや不登校の防止に向け、個別面談やカウンセリングカードの活用により、課題の早期発見と早期対応ができる教育相談体制を整え、スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を図る。

○生徒会活動をはじめさまざまな体験活動を通して、集団や社会の一員としての自覚や公共心を育成するとともに自他の生命を尊重する態度を育成する。

○食育全体計画及び年間指導計画に沿って、全教育活動における食育の推進を図り、健康に対する意識を高める。

○学校安全計画に基づき、社会の実情や本校の実態に応じた安全指導の充実を図り、危険予知能力や危険回避能力を育成する。

イ 進路指導

○小学校から近未来の将来像までのキャリア教育プログラムに基づくキャリア教育を推進する。

○自立した豊かな社会生活を送るため、個々のキャリア教育への支援、学習意欲の向上、将来の職業人としての資質・能力の向上を図る。

○職場訪問・職場体験や上級学校訪問、職業人に聞く会などの活動を通して、自分の進路や生き方について考え、情報収集能力や自己決定力を培い、生涯にわたり自己実現が図れるように望ましい勤労観や職業観を養う。

2. 生徒数、学級数(21.4.7現在)

学年	1年	2年	3年	計
男	3	2	3	8
女	1	0	1	2
計	4	2	4	10
学級数	1	1	1	3

3. 卒業生の状況

	平成20年度 卒業生	進 学		
		都立	私立	国立
男	2	2	0	0
女	2	2	0	0
計	4	4	0	0

4. 職員数(21.4.1現在)

	校長	副校長	主幹	主任	教諭	主任養護教諭	事務主事	用務員	警備員	ALT	S C	計
男	1	1	3	1	4	0	1	0	3	1	0	15
女			0	0	2	1	0	1	0	0	1	5
計	1	1	3	1	6	1	1	1	3	1	1	20